

都市再生整備計画 事後評価シート
結崎駅周辺地区

令和5年3月

奈良県川西町

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	奈良県		市町村名	川西町	地区名	結崎駅周辺地区		面積	4.2ha			
交付期間	平成28年度～令和2年度		事後評価実施時期	令和4年度		交付対象事業費	624.4百万円	国費率	0.474			
1)事業の実施状況	事業名											
	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	公園、高質空間形成施設(シェルター、街灯)									
		提案事業										
	当初計画から削除した事業	基幹事業	地域生活基盤施設(広場)、高質空間形成施設(案内板)	削除/追加の理由			計画年次に対する事業進捗に遅れが生じ、交付金事業期間内の事業実施ができなかったため					
		提案事業	防犯カメラ設置事業、事業効果分析、まちづくり団体形成支援事業	削除/追加による目標、指標、数値目標への影響			計画年次に対する事業進捗に遅れが生じ、交付金事業期間内の事業実施ができなかったため					
	新たに追加した事業	基幹事業	なし									
		提案事業	なし									
交付期間の変更	当初	平成28年度～令和2年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		-							
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
	指標1	近鉄結崎駅周辺における危険認知度	%	39.7	H24	20.0	R2	31.1	△	あり なし ●	目標値は達成していないものの、従前に比べて改善が認められる。	予定なし
	指標2	近鉄結崎駅周辺におけるコミュニティ活動等運営支援者数	人	16	H27	30	R2	50	○	あり なし	結崎1号公園を活用したイベントが増加し、地域のコミュニティ活動の活発化に寄与したと評価できる。	予定なし
	指標3	近鉄結崎駅周辺におけるイベント開催数	回	1	H28	2	R2	5	○	あり なし	イベント開催に適した結崎1号公園の整備や駅舎の改良により、町の中心拠点としての駅前空間に対する評価が向上し、イベント開催数の増加につながったと評価できる。	予定なし
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
	その他の数値指標1	近鉄結崎駅周辺で運転したり、歩いたりして「危ない、こわい」と思った人の割合	%	78.6	H24	/	/	50.0	/	/	近鉄結崎駅周辺で運転したり、歩いたりして「危ない、こわい」と思った人の割合が大きく減少しており、危険認知度の改善につながったと評価できる。	予定なし
	その他の数値指標2											
4)定性的な効果発現状況												
5)実施過程の評価	実施内容				実施状況				今後の対応方針等			
	モニタリング	奈良県・川西町の関係部局、関係団体、有識者等により構成される検討会・ワーキンググループを組織化し、官民協働で計画管理・活用手法立案を行った。			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				○	関連計画「近鉄結崎駅周辺地区まちづくり基本計画」と連携しながら、事業効果についてモニタリングを行う。		
	住民参加プロセス	一般住民のほか川西町内の小学校児童・幼稚園保護者も対象とした、住民参加・対話型の集会「フューチャーセッション」を実施し、官民協働によるまちづくりを推進した。			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				○	引き続き、住民意見を汲み取りながら結崎駅周辺まちづくりに取り組む。		
持続的なまちづくり体制の構築	住民に継続的に広報するとともに、近鉄と連携してまちの観光資源をはじめとするまちの広報に努めた。			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				○	関連計画「近鉄結崎駅周辺地区まちづくり基本計画」の推進にあたり、住民意見を汲み取りながら行うことを基本とし、事業内容に応じて組織体制を検討する。			

様式2-2 地区の概要

結崎駅周辺地区(奈良県川西町) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値	
大目標「安心 すくすく 豊かな心を育む “かわにし”」の形成 目標1:安全・安心なバリアフリー交通環境づくりを進める 目標2:交通結節機能及び利便性を高める 目標3:まちの玄関口にふさわしい景観と賑わいを形成する	近鉄結崎駅周辺における危険認知度	単位: %	39.7 H24	20.0 R2	31.1 R4
	近鉄結崎駅周辺におけるコミュニティ活動等運営支援者数	単位: 人	16 H27	30 R2	50 R4
	近鉄結崎駅周辺におけるイベント開催数	単位: 回	1 H28	2 R2	5 R4

結崎1号公園



街灯



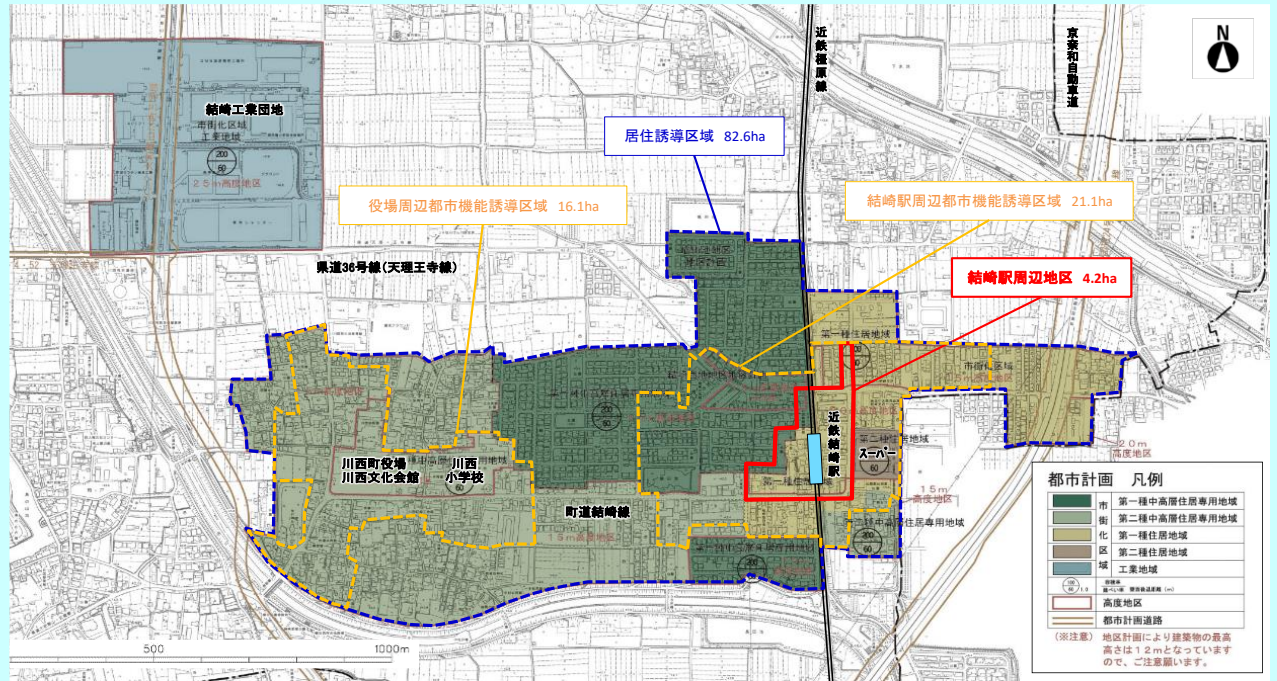
シェルター



オープニングイベント



駅舎(西改札)



まちの課題の変化

- ・駅舎改良により、駅西側地域からのアクセスの向上は図られたが、東側地域からのアクセス性には課題が残っている。
- ・以前の住民意向調査において、照明が暗くて危険を感じるといった防犯上の課題が指摘されていたことに対しては、街灯の整備等により「駅周辺が危ない、こわい」と思う人の割合が大きく減少しており、課題の改善がみられた。
- ・結崎1号公園の整備により、市街地活性化や地域交流を促進するイベント開催の開催回数が増加した。また、9割近くの住民が、以前と比べて結崎駅周辺地区が良くなったと回答しており、「まちの玄関口」にふさわしい景観形成や賑わい創出につながっている。

今後のまちづくりの方策(改善策を含む)

- ・駅西側を本事業で整備したことで住民へのアンケートにおける「駅周辺が危ない、こわい」という意見に関して改善がみられたことから、今後は駅東側地域においても同様に街路灯の整備促進など防犯上の課題改善を進めていく。
- ・駅前広場を活用したイベントの開催等を持続、拡充していくために、イベント事業者等のニーズ把握や駅前広場の利用ルールの見直しに取り組む。
- ・駅東口からのアクセス向上のために、改札口や通路といったエントランス機能の改善と、周辺道路や踏切改良等に取り組む。